

まくせのやしろ  
万九千社  
たちむしじんじや  
立虫神社

社報



# 神戸の郷

第五八号 平成二十九年夏

「発行」七月吉日 代宮家（錦田）

暑中お見舞い申し上げます。平素はお宮の事につきましてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。日々暑さ厳しくなりますが、皆様お健やかな日々をお過ごし下さいませ。

宮司謹白

## 今季の祭

立虫神社

## 夏祭り

いよいよ夏本

番。神社では恒例の夏祭りが賑やかに執り行われます。

このお祭りは、稲をはじめとする農作物が日照や風水害、虫害にあうことなく、恙なく秋の収穫を迎えることができること、人々が伝染病や暑さによる病氣や怪我にあうことなく健やかに穂やかな日々を暮らせるように、そしてその力で諸産業が益々順調に発展するようによいと、氏神さまにお祈りするお祭りです。夜店、神楽、カラオケなど、楽しい催し物もたくさんあります。皆様揃ってお参り下さい。



日時

# 七月二十三日

（日曜日 夕方より）

## 一、本殿祭

午後三時半より齋行

## 一、末社祭

午後五時より齋行

本殿祭、末社祭が、夏祭りの中心となる祭典です。

宮司以下の神職が、古式にのっとり、厳かに御奉仕します。御神前にお供え物をして、氏神様をおもてなしし、宮司が祝詞を奏上します。

本殿祭は、氏子を代表して、総代の皆様に昇殿してもらい、まごころ込めて玉串拝礼していただきます。

末社祭は、境内を取り囲む本社ゆか

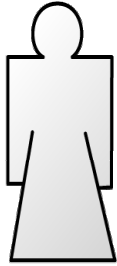
りの四社を時計回りにそれぞれお祭り  
します。

末社当番の皆様は、五時から祭典で  
きますように準備方をお願いします。  
あわせまして、各社のお護り方、氏子  
さんへの御神酒授与など、どうぞ心う  
ららかに、一夜のおもてなしをよろし  
くお願いします。

## 一、大<sup>お</sup>は<sup>は</sup>禊<sup>え</sup>

この日は、一ヶ月遅れの夏越しの大  
祓（本来は六月三十日）も行います。  
人形（ひとがた）に、半年のツミヤ  
ケガレをうつしやり、神前に大祓詞を  
奏上して、それらを祓い去ります。  
夏以降の無病息災、防魔鎮魂を祈念  
するものです。

※人形は、事前に御家庭（氏子家当金  
納入者）へお配り  
しています。この  
紙で、身体を撫で  
こすり、息を吹き  
かけたうえ、氏  
名、年齢、性別を書いて、拝殿の箱にお納



め下さい。のちにお炊き上げて祓い去り  
ます。

## 催し物

午後六時より

千親会神和会協賛

### 一、小学生の合唱合奏

#### カラオケ奉納

小学生の氏子さんたちが元気よく奉  
納します。

### 二、出雲神代神楽奉納

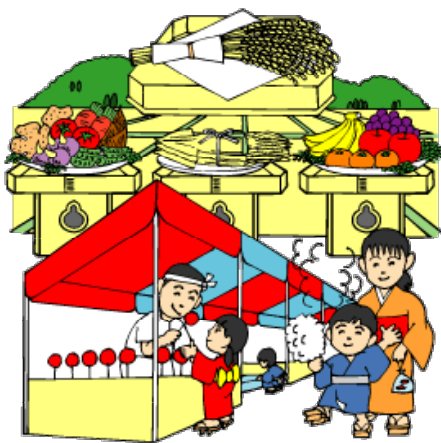
当社の神楽社中が、厳かに時に勇壯  
に舞い奏でます。

### 三、余興

恒例になりました。今年ほどのよう  
な催しがありますやら。お楽しみに。

### 四、大文字

子供たちによる絵や習字の奉納展  
示です。子供さんやお孫さんの可愛  
らしい作品に神様も目を細めていらし  
やることでしょう。



《あとがき》去る五月六日、昨年  
およそ六十年ぶりに復興した万九千  
社春祭り「大なほらひ」を齋行致し  
ました。当日は心配していた雨にも  
逢わず、清々しい風の中で昼夜、約  
二千名余の方々に御参拝いただき大  
賑わいでした。▼これも主催者であ  
る実行委員会の皆様、協賛企業の皆  
様、総代、神楽社中をはじめ氏子の  
皆様のご協力のおかげ：改めまして  
御礼申し上げます。▼このたびの夏  
祭りも、猛暑の中、千親会、神和会  
の若者たち、神楽社中をはじめ多く  
の方々の御奉仕があつてこそ成り立  
ちます。だんだんです。（宮司）